

○TRACK 05 / ディープキス→手マン→立ち鼎 /
ショッピングモール / 午後

ふふっ、二人でデートなんて久しぶりだね。
こうして一緒に歩いていると、
結婚前を思い出すなあ。

こんなに楽しいの久しぶり。
このまま時間が止まっちゃえばいいのにね。

……ねえ、今、何を見てたの？
ごまかしても無駄だよ。
今、別の女の子見てたよね？

それも結構な時間。
なんだかぼーっとしてた。

デート中に、
別の女の子見るって失礼じゃない？
あなたの妻は私だよ。

ねえ、私以外の女の子を見ちゃうほど、
むらむらしてるの？
やっぱり、
電車で抜いておいた方が良かったかな？

あの子がそんなに気になるの？

あなた、ああいう子が好みだったけ？
ねえ、違うってどういうこと？

似てる？

アイドルに？

うーん、言われてみれば似てるかな。

それは……うん、あなたがファンなのは知ってるよ。
エッチな気持ちじゃないってことも、わかってる。
推し活って性欲とは別だもんね。

でも、あなただって、
私がデート中に、
他の男の子見たらイヤでしょ？

……え、気にしてよ。
私が嫉妬深いみたいじゃない。

むー……なら実力行使しちゃう。

ねえ、こっち来て。
さっき出せなかったら溜まってるでしょ？
いいから早く。

ふふっ、ここならいいかな。
大丈夫だよ。
ここね、有名なセックススポットなの。

このエリアって、
自販機とコインロッカーのせいで、
死角になってるでしょ？

だから他の人からは見えないんだよ。

それを利用して、
たまにカップルとかがしてるみたい。

んっ、ちゅっ、んちゅっ。

ふふっ、こんなところでしちゃうなんて、
悪いことしてるみたい。
興奮しちゃう。

うん、見つかってもいいの。
あなたと一緒になら平気。

あなたと一緒になら、
もっと変態なプレイでもしたくなっちゃう。

そうすれば、
あなたは私しか目に入らなくなるよね。

ちゅっ、んっ、ちゅっ、ちゅう。

はあ、キスすると落ち着く、
もっとしていくよ。

んう、ちゅう、れろれろっ、ちゅうう。

んっ、あなたとキスするの大好き。

ヤダ。やめないよ。

私のこと寂しくさせたから、

その分いっぱい愛してよ。

私、寂しがり屋なの。

だからあなたがずっと見てくれないとイヤ。

私のことだけずっと見てほしいよ。

んあ、ちゅっ、れろれろ、ちゅう、ちゅうう。

ほら、おっぱい、触っていいよ。

私の方が大きいでしょ？

あなたの好きなように触っていんだよ？

あっ、んっ、そうそう。

おっぱい柔らかくて気持ちいいでしょ？

あなたがしたいなら、私のおっぱい、

好きなだけ触っていいからね。

ほら、おちんぼ、どんどん硬くなっていくよ。

私のおっぱい揉んで興奮しちゃうんでしょ？

こんなに興奮しちゃうなら、
他の女の子なんて見る必要ないよね？

んっ、おっぱい触られるの気持ちいい。
おまんこも濡れてきちゃう。

はあ、私もいじってほしくなっちゃった。
ねえ、下も触ってほしい。
さっきからね、おまんこが欲しがってるの。

自分でもわかるくらい、
お腹の中がキュンってしてる。

ねえ、キスしながら指でほぐして。
んっ、そうそう。

あなたの指が、
私のおまんこのニオイになるくらい、
たっぷり触ってほしい。

はあ、割れ目のところ、いじられちゃってる。
ふふっ、あなたの指にこすりつけてるみたい。

もうちょっと上の方もいじって欲しいな。
そう、クリのところ。
ふふっ、おっきくなってるのわかるでしょ？

んっ、クリに指があたってる。

はあん、あなたの指、やっぱり気持ちいい。

んう、クリ、もっとさわって。
あなたの指でよしよしってして欲しい。

いいでしょ？
よそ見た分、私のこと可愛がってよ。

んっ、そうそう、そこ、触られるの好き。

はあ、クリ撫でられて感じちゃう。
おまんこからエッチなおしるが、
あふれてくるのがわかるの。

んっ、あっ、ああん。
指が動くたびに、エッチな声が出ちゃうよお。
はあ、気持ちいい。

そのままいっぱいじってよ。

あっ、んっ、ああん。
下着、シミになっちゃいそう。

下着脱いじゃうね。

はあ、クロッチのところ、
私のおしるでいっぱい濡れちゃってる。

ふふっ、どう？
興奮してきたでしょ？

ねえ、直接触って。
下着越しじゃ足りないよお。

あっ、んっ、ああん。
そうそう、上手う。
あなたの指が、クリ、撫でちゃってるのお。

はあ、気持ちいい。
外でしてるからかな。
すごく興奮しちゃうの。

ね、わかるでしょ？
軽く指を動かしてるだけで、
くちゅくちゅってエッチな音してる。

あなたにしてほしくて、
んああ、たまらなくなってるの。

.....ねえ、おちんぽ入れて。
いいでしょ。
指だけじゃ物足りなくなっちゃった。

やっぱりおちんぽが欲しいの。

それにあなただって、

おちんぽ限界でしょ？
ファスナー壊れちゃいそうだもん。

出しちゃおっと。
わあ、おちんぽ、ギンギン。
こんなになるまで我慢してたんだ？

大丈夫、私が発散させてあげる。

我慢する必要ないんだよ？
私のおまんこに、あなたのおちんぽ、
いっぱいハメハメして欲しいな。

ムラムラしてるのを全部射精して、
スッキリしちゃおうね。
そうすれば、他の女の子を見なくて済むでしょ？

大丈夫、立ったままできるよ。
こうやって足上げたら、
ほら、入りそうでしょ？

うん、足はあなたが支えてて。
私は首に手を回して、
抱きしめるみたいにしたら……、
姿勢も安定するでしょ？

こうしてれば、

繋がってるところはコートで隠れるから、
他の人には見えないよ。

ふふっ、顔もすぐ近くに来ちゃうから、
エッチだよ。

この姿勢、立ち鼎って言うんだって。
これなら、狭いところでもできるでしょ？

ほら、体と一緒に、
おちんぽとおまんこもくっついちゃいそう。

隠れてしてるから、
なんだかドキドキするね。

んー、ちゅっ、ちゅっ。

ねえ、入れてよ。

おまんこ寂しいってってる。
あなたのおちんぽが欲しすぎて、
トロトロっておしるを垂らしてるの。

ほら、おちんぽもおまんこに入りたくて、
ビクビクしてるよ。

お願い。
あなたのたくましいおちんぽで、

私のこと慰めて欲しいの。

あっ、おちんぽ、入口にあたってる。

押し込んでいいよ。

ああん、おちんぽ入ってきたあ。

はあ、んっ、ああん。

んう、あなたのおちんぽ好きい。

んっ、入っちゃった。

このままぎゅって抱きしめてほしい。

ん、このまま、

奥までいっぱいおちんぽ押し込んでよ。

んー、ちゅっ、ちゅっ。

んう、お腹の奥まで、

おちんぽが入ってきてる。

あっ、はあ、あなたのおちんぽが、

おまんこの中をかき分けてるのがわかる。

あっ、すごいよお。

あなたのおちんぽが、

お腹の中でくっついてるみたい。

はあ、これ、好きかもお。

頭の奥まで、
気持ちいいのが響いてくるみたい。

うん、このまま動いていいよ。
私のこといっぱい気持ちよくして。

あっ、はっ、ああん。
はあ、おちんぽ、
下から突き上がってくるみたい。

うん、私は大丈夫。
今はこれくらい強い方が気持ちいいの。
頭の中が痺れて、おかしくなっちゃう。

んあ、いっぱいちゅーしよ。

んあ、ちゅっ、ちゅうう、んはあ、ちゅう。

はあ、あなたのおちんぽで、
夢中になっていく。

うん、体がびったりくっついて、
頭の中ふわふわになっちゃう。
とっても幸せだよ。

嫌なこと全部、
吹き飛ばんじゃうくらい気持ちいい。

はあ、すごいよ。
あなたに愛されてるって気がする。

んー、ちゅっ、んちゅ、ちゅうう。

ふふっ、こうして体を任せてるとね、
あなたに抱き抱えられてるみたいで、
んああ、
なんだか嬉しくなっちゃうの。

んー、ちゅっ、んちゅ、ちゅうう。

もっと、もっとしてえ。
もっと突いて欲しいの。

大丈夫、感じるところにあたってるから、
すごく気持ちいいよ。
だからもっと強くしてほしい。

あなたのおちんぽで、
私のおまんこいっぱい突き上げて。

んー、ちゅっ、ちゅっ。

んっ、あっ、ああん。
お腹の中が期待してるの。
あなたのおちんぽの形になりたいって、
言ってるみたい。

はあ、きゅんきゅんして、
キス、いっぱいしたくなちゃう。

んちゅ、ちゅっ、んう、ちゅうう。

あっ、そこ、好きい。
たぶん、Gスポットのあたりい。

あなたのおちんぽが通るたびに、
んう、頭の中で、
電気が走っていくみたい。

はあ、おちんぽ、すごく硬くなってるよ。
あなたも気持ちいいよね？
気持ちいいでしょ？
私のことだけ考えてくれてるよね？

いいよ。好きなだけ突き上げて。
あなたのおちんぽ、
私がおまんこで全部包み込んじゃう。

あっ、んっ、ああん。
あっ、腰の動き、すごいよ。
立ったままするの、気持ちいいの。

思いっきり突き上げて、んあ、私のこと、
あなたでいっぱいにして欲しいよお。

あっ、んう、
おちんぽ、んう、膨らんでる。
はあ、んっ、ああん。
そろそろ、出ちゃいそうなんでしょ？

えへへ、わかるよ。
私はあなたの妻だもん。
ああん、全部出していいよ。

私は他の女の子とは違う。
あなたにとっての特別だもん。

だからあなたの精液で、
私のおまんこ、満タンにして欲しい。

うん、いっぱいぎゅってしてるから、
濃い精液、私にちょうだい。

あっ、んっ、んっ、ああん。
はあ、私もイっちゃいそう。
うん、二人で、二人でイこう。
あっ、いくっ、いっ、いくうう。

あっ、んっ、ああん。
んっ、んあ、はあ、いく、
んっ、いくううう。

あっ、あつつうい。

ドクドクってすごい勢いで流れ込んでくる。

はあ、おまんこ、あったかい。

はあはあ、ん、はあ、

狭いところですので、興奮しちゃうね。

はあはあ、

すごく激しくしてくれて、嬉しかったよ。

ふふっ、これだけ出したら、

頭もすっきりしたでしょ？

んー、ちゅっ、ちゅっ。

私もスッキリした。

あなたがこんなに愛してくれるんだもんね。

でも、他の女の子は、

あんまり見ないで欲しいな。

あなたを独り占めできないと、

私、不安になっちゃうの。

わかった？

ふふっ、じゃあ、デートの続き、しよ。

私ね、下着見にいきたいな。

大丈夫、私たちは夫婦なんだから、
恥ずかしがること無いって。
あなたがどんな下着が好きか教えてよ。

えへへ、腕、貸して。

こうやって抱きついておけば、
他の女の子に目がいかないでしょ？
私、あなたから離れないからね。